

The Ministries of Junichi & Kaoru Saigo in Sano, Japan, and Beyond

For **CONNECTING** the World in God

The Newsletter For “Saigo Ministries” on June 19, 2022

「時」を越えた「時」を生きる

彼らはイエスに質問して言った。「先生。それでは、これらのことはいつ起こるのでしょうか。これらのことが起こるときは、どんな前兆があるのでしょうか。」イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『私がそれだ』とか『時は近づいた』とか言います。そんな人々のあとについて行ってはなりません。戦争や暴動のことを聞いても、こわがってはいけません。それは、初めに必ず起こることです。だが、終わりはすぐには来ません。」それからイエスは彼らに言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、大地震があり、方々に疫病やききんが起り、恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現れます(ルカ 21 章 7-11 節)。

最近、世界で起こっている出来事、コロナ・パンデミック、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮の度重なるミサイル実験、不気味で、ふてぶてしくさえも感じる中国の動き、世界中で見られる気候変動・異常気象による(?)大地震、大洪水、大山火事など様々な自然災害等々に、上述のイエス様の「世の終わり」に関する預言を思い起し、これからの世界情勢に不安を覚えている方々も多いと思う。このような中、私たちはどうあるべきか? ここに多くを語ることはできないが、結論から言うなら、私たちのなすべきは、神を信じ、イタズラに心を騒がすことなく(ヨハネ 14 章 1 節)、これまで通り生きることである。パウロは、「再臨」問題で浮足立っていたテサロニケの人たちに、平常通り「落ち着いた生活」(I テサロニケ 4 章 11 節)をするように警告的に勧めた。祈りだけで 2000 人の孤児を養った信仰の人ジョージ・ミュラーが、晩年「自分の人生が、後(あと)一週間だと分かったら、どのようにその残りの日々を過ごすか?」と尋ねられたとき、「今までと同じ」と答えたと言う。高名な聖徒は言う。クリスチャン生涯は、「イエス・キリストが、昨日十字架に掛かり、今朝死人の中から甦り、明日再び来られる」と言う緊張感の中にある。即ち、クリスチャンは、様々な見える事象の「時」を越えた「時」、即ち「永遠の今」(参: II ペテロ 3 章 8 節)を生きるのである。

Ministry News : Apr, May & June

“有賀・岸両先生との再会!!”



4月29日(金)、同じ教団(JECC)に属する「おもちゃの町教会」(栃木県下都賀郡壬生町)の献堂式にかおる師、井川夫妻と共に出席。五角形の広い美しさ、コンパクトで機能的な会堂の素晴らしさと共に、開拓・旧会堂建設、そして現献堂に至るまでの数々の信仰の証しに大いに励まされ、恵まれた。更に嬉しかったことは、同式典にゲストとして招かれていた伝道

者の「大先輩」有賀喜一先生と岸義紘先生と再会できたことである。両先生方は、小生の若い(20代から)ときから親しくお交わり・ご指導を頂いて来た器方であり、日本であつて属していた母教会でも、米国時代のプリンストン・NY・ワシントン等の教会にも何度かおいで頂きご奉仕して頂いて来た。さすがに私も含めて皆、年相応に老けてはいたが、お二人とも小生より遥かにお元気で、力強いご奉仕であった。[写真上:おもちゃの町教会、下左:有賀喜一先生と、下右:岸 義紘先生と]



結婚式で、東京へ！



4月30日(土)、昨年11月22日帰朝し、佐野に着いて以来、初めての県外出。東京(京橋)での結婚式に突然の参列。新婦の京香さんはノア外語学院を通して信仰を持ち、大学時代に新郎の匠さんを主に導く。図らずも司式者の波多康先生とは、札幌でお会いして以来の知己でもあり、感謝。新婦とは短かったが、幾度も拙宅にもおいで頂き、良い交わりをさせて頂いた。今は夫君と岡山に。

ピクニック礼拝



5月15日(日)車で1時間ほどの「根古屋森林公園」で、佐野レインボー・チャーチの「ピクニック礼拝」を持った。お天気にも恵まれ、「肉」一杯のバーベキューと交わりを楽しんだあと、美しい自然の中、賛美と聖言をもって共に礼拝を捧げた。



ハレルヤ！2名の受洗

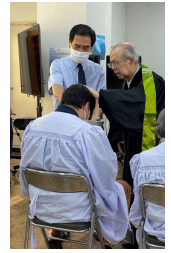
6月12日(日)、佐野レインボー・チャーチで2名の方々の洗礼式が持たれた。お一人は、井川由美子さんのお母様高瀬登美子さん(89才)である。受洗の前に証しされたことは、42年前、長女由美子さんが、人間関係に悩み、他の宗教に苦しめ



られ、自殺を考えるほどに人生に迷い果てていたとき、イエス様に出会い、生涯が全く変えられ、その救いが、家族の中で一人一人を変えて行き、ついに自分にまで及び、洗礼を受けるに至った感謝であった。(由美子さんの救いに、かおる師が、42年前関わらせて頂いたことが、今日私たちが佐野にいることと繋がっていることを覚えるとき、主の大きな摂理を感じる)

もう一人は、ロハス・アレックスさん。以下は彼が受洗の日にした証しである。「私は元々クリスチアンの家族で育った影響で、大学生までは教会に通い、一回バプテスマを受けています。しかし、社会人になり、上京するにつれ、神様との距離が離れ、教会に約8年間行かない時期がありました。それが、コロナの時期に、会社の働く環境

が変わり、2021年の8月に佐野に戻る事になりました。そこで、既にレインボーチャーチに通っていた両親から何度も教会への招待がありましたが、正直その時にはあんまり行く気がしませんでした。ただ、何回も誘われるうちに、ある日曜日に一回試しに行く事にしました。何度か行くうちに、ある日曜日に西郷先生のメッセージで、希望について話される回があり、そのメッセージが私にももの凄く響きました。我々の生活で色々な困難がある中で、神様を信じれば、必ず希望があると。私の中ではその日曜日から改めてもう一度神様と向き合おうと思いました。今回のバプテスマの話があった時も、神様との関係構築のために、自分の中ではぜひそれを示したいと考え、西郷先生に相談しました。西郷先生からも、今回のバプテスマはゴールではなく、クリスチャンとしての歩みの再出発であることを言われました。この言葉もすごく同感しました。この教会に通い始めて、よかったと思っています。井川先生、西郷先生、皆さんに感謝しています。これからも神様を信じ、クリスチャンとして成長したいと考えています。今日、改めて、イエスさまの



十字架とご復活により私の犯したすべての罪が赦され、神の子とせられたことを信じ、洗礼を受けることを感謝します」。



懐かしい“せっちゃん”との再会

6月12日(日)、「せっちゃん」こと、旧姓町田(現オモリイ)節子さんが、東京・府中から幾つも電車を乗り継いで、ここ佐野まで、はるばると訪ねて来てくださった。思えば彼女は、小学校1年生の時から、一人で京王線と井の頭線を使い、私たちの母教会久我山宣教会に通って来ていた日曜学校の生徒であった。彼女の持って来てくれた懐かしい写真を見ながら、幼稚科から高校生科まで150人以上の子どもたちが集まっていた毎週日曜日の集会、ほぼ同数の参加者で3泊4日で行った「夏期学校」キャンプ等々の楽しい思い出話に花を咲かせた。今回は、ミス・コミュニケーションから、レインボーチャーチの礼拝時間を間違えていたので残念ながら礼拝には参加できず、井川ご夫妻を紹介するに留まり、東京に戻られた。



Saigo Family の近況

- **永住権放棄**：5月18日、かおる師、しのぶ、小生、3人分の「米国永住権」放棄の手続きを完了し、現在、USCIS からその正式受理の通知が送られて来るのを待っている。放棄申告のため書類送付の日、郵便局の駐車場の車中で、「永住権」獲得に努力した頃のこと、また、この「永住権」により、可能になり、許された日米における様々なミニストリーのことをシミジミと思い起しながら主に感謝し、改めて前途への主の祝福を3人で祈った。



(左:Fパークで、右:しのぶ誕生日)

- **足利フラワーパーク**：ゴールデン・ウィーク中、5月4日、佐野駅から両毛線で2駅ほどのところにある全国的にも知られている「足利フラワーパーク」に家族3人で出かけた。「藤の花」を中心に、春に咲き誇る数々の花の美しさに魅了された一日であった。

- **宣子エスター**：4月の終わりコロナに感染したが、自宅療養で完治。8年に及ぶナニーの仕事を締め切り、5月末から1年半ほどの予定で、ウェスト・チェスター大学(バイデン夫人も卒?)の看護科でのフルタイムの学びに入った。(写真右：昨年11月米国での最後の別れの時)

- **私ども夫婦**：4月29日、満48年の結婚記念日を迎えた。その日、前述の献堂式から戻り、ある家庭訪問を終えた後、家族3人で近くの落ち着いたことのできるレストランで、神様とお互いへの感謝と祝いの時を持った。



お祈りして頂きたいこと

- 私ども夫婦の佐野レインボー・チャーチ (SRC) での伝道・牧会のご奉仕のために(毎月1、2、4日曜、計3回の西郷の礼拝メッセージ、かおる師の音楽奉仕、毎週水曜の聖研、個人訪問・面接など)
- 佐野レインボーチャーチが霊的にも・人数的にも、個人的にも・群れとしても、成長するように。
- ノア外語学院が福音前進のために用いられるように。両団体の責任者井川夫妻のため。
- 小生の SRC 外でのミニストリーの導きのため(巡回伝道、オンライン/SNS を用いた伝道)。
- しのぶが、「ノア外語学院」での見習いの仕事でもより訓練され、日本語を中心に英語も含めて、あらゆる面での能力を伸ばせるように。
- 看護師を目指す米国の次女宣子エスターと夫のジェイソンのために。
- 私共の霊と肉の健康の為。
- 私共の個人的、またミニストリーのための経済的必要が満たされるように。

皆様の上に、愈々、神様の豊かな御祝福を祈ります。

在主 2022年6月19日

西郷純一、かおる、
しのぶ、宣子エスター(Phila., PA)

<皆さまのお祈りとご支援に心から感謝します>

- 「西郷純一・かおるを支える会」：UFJ 川越支店(382)：(口座名・番号)西郷純一かおる師を支える会・事務担当馬場一憲・普通 預金 3818778 問い合わせ：0492-41-7048
- 西郷かおるの PAYPAL アカウント(下記西郷かおるの Email Address 使用)
- 連絡先：西郷純一・かおる(〒327-0847 栃木県佐野市天神町 868)
- 電話：純一(090)3279-3150/かおる(090)5678-3150
- Eメール：純一 saigojunichi@gmail.com かおる saigokaoru@gmail.com